

令和7年度仙台市認知症施策における新規の取組み

1 仙台版チームオレンジ

認知症の人と家族のやりたいことや困り事に対して、認知症サポーター及び認知症パートナー等が、認知症の人や家族とともに活動する取り組みを、地域の特性に合わせて行う「仙台版チームオレンジ」の設置に向けた取組みを行う。

【今後の予定】

- ・行政職員等が本人ミーティング等の場に出向き、チームオレンジについて、認知症の人や家族等からヒヤリングを行う。
- ・認知症の人や家族、オレンジチューター、地域包括支援センター職員、区役所職員によるワーキングを実施。
- ・10月を目途として、仙台版チームオレンジ設置を目指す。

2 「新しい認知症観」の普及啓発

○市民向け映画「オレンジ・ランプ」上映会

- ・新しい認知症観を広げるとともに、認知症当事者の視点から誰もがよりよく生きられる共生社会づくりを考える機会とするため、仙台市認知症対策推進会議委員である丹野氏の実話をモデルとした映画「オレンジ・ランプ」上映会および認知症当事者等によるアフタートークを市民向けに実施する。(令和8年1月開催予定)

○「新しい認知症観」を広げるための動画普及啓発

- ・令和6年度に制作した「活躍する認知症のご本人動画」のショートバージョン(15秒)を作成し、各区に設置しているモニターへ掲載するなど、幅広い世代へ普及啓発を行う。

3 生活の工夫講座モデル事業

令和7年度、認知症と診断されて間もない、軽度の認知症の人を主な対象として、認知症の人と作業療法士等の専門職が講師となり、実際に生活の中で工夫していることや、認知症とともに生きていく上での心構えなどを学ぶ講座のモデル事業を実施する。(令和7年11月開催予定)

【今後の予定】

- ・認知症の人、作業療法士、地域包括支援センター職員、区役所職員等とともにワーキングを行い、講座内容や周知方法等を検討する。また講座開催後は振り返りを行い、今後の方策を整理する。

4 認知症バリア解消に向けた検討

令和6年度より、認知症地域支援推進員等を中心に、「認知症の本人・家族・地域の方の声を聴くシート」を活用し、「本人等の何気ないひとこと」の記録・集約開始。令和7年度はこれらを基に認知症バリア解消に向けた方策を検討する。

【今後の予定】

- ・認知症の人、作業療法士、学生ボランティア、地域包括支援センター職員、区役所職員等とともにワーキングを行い、集約した声を分析する。認知症当事者ナレッジライブラリー※1の項目を参考とし、11の生活領域(衣・食・住・金・買・健・移・交・遊・学・働)で分類・分析する予定。

※1:認知症当事者ナレッジライブラリー:「認知症未来共創ハブ」が運営する、認知症のある方の発症から現在までのあゆみ、喜びや実現したいこと、日常生活の困りごとや苦労(生活課題)と背景にある心身機能のトラブル、これとつきあう暮らしの知恵を、ご本人の「語り」に基づいてまとめたデータベース。

5 スローショッピング※2

認知症の人等、買い物に不安を感じる方が、ゆっくり安心して買い物ができる体制づくりとして、令和6年度実施したスローショッピングモデル事業の内容を踏まえ、令和7年度はスローショッピングや市内商業施設で設置が広がりつつある『ゆっくりレジ・スローレジ』の拡充に向けて取り組む。

【今後の予定】

- ・スローショッピング・『ゆっくりレジ・スローレジ』の拡充に向けて、認知症の人、家族、認知症対策推進会議委員の福井氏、学生ボランティア、地域包括支援センター職員、区役所職員等でワーキングを実施。
- ・『ゆっくりレジ・スローレジ』を実施している商業施設の担当者等を講師とし、『ゆっくりレジ・スローレジ』拡充及びスローショッピング実施にむけた事業者向け研修会を開催する。
- ・商業施設にてスローショッピングを実施するために、地域包括支援センターや関連団体と実施にむけ検討を行う。

※2:スローショッピング:認知症の人等、買い物に不安を感じる方が、認知症サポーター等ボランティアスタッフと一緒にゆっくり自分のペースで商品を選び、列の後ろを気にせず一緒に会計をする等、生活に必須である買い物に対するバリアを解消するための取り組み。

6 認知症の人と家族への一体的支援プログラムの実施

認知症の人と家族が希望を持って暮らし続けることができるよう、家族をひとつの単位とした支援を行い、他の家族との出会いによる自然な学びを得て、家族の関係性の再構築や良好な家族関係の維持調整に役立つプログラムを実施する。

令和6年度、長町エリアで実施したモデル事業と情報交換会の結果を踏まえ、令和7年度は拠点を4か所に拡充し、プログラムを実施する。

【今後の予定】

- ・小規模多機能型居宅介護事業所マイムケアへ委託し、長町エリア及び河原町エリアでの一体的支援プログラムを実施。
- ・仙台市認知症疾患医療センター(せんだんホスピタル・いずみの杜診療所)へ委託し、一体的支援プログラムを実施。
- ・認知症の人と家族の会宮城県支部へ委託し、長町エリア及び河原町エリアにおける一体的支援プログラムの運営支援を実施。
- ・一体的支援プログラム運営団体、認知症介護研究・研修仙台センター、学識経験者による情報交換会を行い、効果的な実施方法や課題等について検討する。

7 軽度認知障害(MCI)について普及・啓発

軽度認知障害(MCI)について広く市民へ普及啓発を行う。

【今後の予定】

- ・介護保険料決定通知書(65歳以上の市民へ郵送)へMCI及び認知症に関するお知らせを同封。(令和7年6月より)
- ・MCIについて新たに掲載した令和7年3月発行の全市版認知症ケアパスや、仙台市ホームページによって、早期に相談先へとつながれるよう周知啓発を行う。
- ・より幅広いMCIの普及啓発に向け現状を把握するため、地域包括支援センターや各区・各総合支所及び物忘れ電話相談(認知症の人と家族の会宮城県支部へ委託)における相談件数や相談内容等を把握する。